

2017年10月14～16日 四日市東日本大震災支援の会 第47回派遣 宮城県東松島市 KUNI-KEN ライブ&交流会 報告

2017年12月1日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が進んできました。今回は、集団移転先の「あおい地区」の皆さんが中心になって開催する津軽三味線演奏&交流会を企画・運営しました。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

<活動概要>

■KUNI-KEN 津軽三味線演奏会&お茶会

費用負担など

大学生・一般 7,000円

★参加費には、往復の移動、入浴1回が含まれます

★食事は各自負担

★宿泊；あおい集会所

参加者

四日市大学学生5名、教員1名、アーティスト2名

<スケジュール概要>

★10月14日(土)

9:00 近鉄富田駅集合⇒川越IC⇒途中、横浜で観光

夜；入間市駅でKUNI-KENと合流⇒多賀城極楽湯で入浴

⇒深夜に東松島市到着、集会所で仮眠

★10月15日(日)

7:00 起床⇒朝食⇒セッティング・リハ

10:00；KUNI-KEN ライブ

14:00 現地出発

23:00 大学帰着



演奏会の音響と照明は、学生だけでセッティングし、オペレートします！



津軽三味線とロックとの融合、そして伝統曲の演奏



8月に亡くなった阿部康さんの追悼で映像とのコラボ演奏



コンサート終盤には客席とアーティストが一体となっていく



演奏会終了後には、阿部康さんが仮設住宅から引っ越すはずだった
集団移転先の「野蒜ヶ丘」のまちびらきまつりを見学に行きました。